

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
【部門区分】第3部門第5区分  
【発行日】平成26年1月9日(2014.1.9)

【公開番号】特開2013-227710(P2013-227710A)  
【公開日】平成25年11月7日(2013.11.7)  
【年通号数】公開・登録公報2013-061  
【出願番号】特願2013-22934(P2013-22934)  
【国際特許分類】

D 2 1 C 7/12 (2006.01)

D 2 1 C 7/14 (2006.01)

D 2 1 C 7/08 (2006.01)

【F I】

D 2 1 C 7/12

D 2 1 C 7/14

D 2 1 C 7/08

【手続補正書】

【提出日】平成25年11月20日(2013.11.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

内部室；

該内部室の上部に連結している気体排出部；

上記内部室の低部に連結している液体排出部；

上記内部室の入口部に取り付けられ、のど部を有する流路を含む入口ノズル；および

上記流路内の可動バルブプレートを含み、このバルブプレートは、上記流路内ののど部の第1のど部領域を規定する第1位置およびこの第1のど部領域よりも小さい横断面積を有する第2のど部領域を規定する第2位置を含むものであることを特徴とするフラッシュタンク。

【請求項2】

バルブプレートが、端部に結合した平面状表面を有する方形プレートである請求項1のフラッシュタンク。

【請求項3】

流路の側壁に取り付けられたヒンジをさらに含み、該ヒンジがバルブプレートの上流端に取り付けられ、バルブプレートのためのピボット軸を生じる請求項1のフラッシュタンク。

【請求項4】

バルブプレートに連結したアクチュエーターをさらに含み、アクチュエーターはバルブプレートを多くの位置の間で移動させる請求項1のフラッシュタンク。

【請求項5】

流路が方形断面を有する請求項1のフラッシュタンク。

【請求項6】

バルブプレートを移動させるためにバルブプレートに連結した延伸し得るシャフトを有するアクチュエーターを含む請求項5のフラッシュタンク。

【請求項7】

加圧された液体をフラッシュタンクの入口ノズルに供給し；  
上記液体が入口ノズルからフラッシュタンクの内部室に流入するときに、上記加圧された液体をフラッシュさせ；  
フラッシュにより形成された気体排出物を上記内部室の上部から排出させ；  
フラッシュにより形成された液体を上記内部室の下部から排出させ；および  
入口ノズルにおける流路の横断面積のど部領域を上記流路におけるバルブプレートを移動させることにより調節することを含むことを特徴とする加圧された液体をフラッシュさせるための方法。

【請求項 8】

加圧された液体の供給工程が、バルブプレートが流路中の第 1 のど部領域を規定する第 1 位置にあるときに、加圧された液体が流路を流れる第 1 供給工程と、バルブプレートが第 1 のど部領域よりも小さい横断面積を有する第 2 のど部領域を規定する第 2 位置にあるときに、加圧された液体が流路を流れる第 2 供給工程を含んでいる請求項 7 の方法。

【請求項 9】

請求項 7 の方法であって、加圧された液体の供給工程が、バルブプレートが流路中の第 1 のど部領域を少なくとも規定する第 1 位置にあるときに、加圧された液体が流路を流れる第 1 供給工程と、バルブプレートが第 1 のど部領域よりも小さい横断面積をそれぞれ有する複数ののど部を規定する複数の位置にあるときに、加圧された液体が流路を流れる第 2 供給工程を含んでいる請求項 7 の方法。

【請求項 10】

形成された気体排出物がスチームである請求項 7 の方法。

【請求項 11】

形成された液体が凝縮物である請求項 7 の方法。

【請求項 12】

フラッシュタンクの入口ノズルに供給される加圧された液体が黒液である請求項 7 の方法。

【請求項 13】

入口ノズルにおける流路の横断面積のど部領域の調節が、フラッシュタンクに入る加圧された液体の流量および/または流速の調節を可能にする請求項 7 の方法。

【請求項 14】

入口ノズルにおける流路の横断面積のど部領域の調節が、フラッシュタンクにおける圧力損失のコントロールを可能にする請求項 7 の方法。

【請求項 15】

入口ノズルにおける流路の横断面積のど部領域の調節が、フラッシュタンクへの入口ノズルの上流にある導管内における十分な圧力を保証する請求項 7 の方法。